学力検査時の対応について

（高等学校への府教育委員会からの通知の一部抜粋）

1. 検査室の換気について

（ア）廊下側の高い位置に窓がある場合は、可能であれば開放したままにする。

（イ）各検査終了の合図で答案を伏せて受験者を退出させ、答案及び問題用紙を回収した後、例えば教室の四隅の扉と窓を開放し、その他の窓は一部を開放するなど、少なくとも５分間は換気を行う。ただし、当日の気温、雨、風の状況を踏まえ、窓の開け方を工夫すること。

（ウ）騒音等が検査に影響する場合以外は、廊下の換気にも留意する。

（エ）退出した受験者が密集しないよう、例えば、１教室ずつ間隔をあけて検査室を設定するなど工夫する。

（オ）窓の開け閉めを監督者とは別の者が担当するよう役割分担をしてもよい。

2. その他

（ア）防寒着を着用したままで受験することを認める。ただし、地図や文字等が入った服を周囲に見えるように着用している場合は脱ぐように指示すること。その際、防寒着を上着の下に着用することができ、本人がそれを希望する場合は認めること。

（イ）状況によりエアコン等を使用する場合は、騒音等が検査に影響しないことを事前に確認しておく。ただし、リスニングテストを実施することから、英語の学力検査時間中は、エアコン等のスイッチを切ること。なお、エアコン等の使用により検査室によって差異の生しることがないように注意し、監督者とは別の者が一括して管理するなど役割分担を行ってもよい。

（ウ）学力検査終了後は、検査室ごとに順次下校させるなと、廊下、階段や玄関等で受験者が密集しないように工夫する。